Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

# 土浦南ロータリークラブ 週報

清水寺子安塔の雪化粧

会長 稲野邉 穣　幹事 高野 和彦
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波
TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2018～2019年度
国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう

地区 HP　地区行事予定

## 2019年２月12日　29号
## 2019年２月５日　第１例会報告

1．点　　鐘　稲野邉会長
2．国歌斉唱
3．ロータリーソング斉唱（奉仕の理想）
4．米山記念奨学生紹介・奨学金授与
　　董然さん　稲野邉会長
5．会長挨拶　稲野邉会長
6．幹事報告　高野幹事
7．お誕生日の会員及び配偶者のご紹介
　　親睦活動委員会
8．委員会報告
9．ニコニコボックスの発表　塚﨑副ＳＡＡ
10．出席状況報告　出席委員会
11．来賓卓話
　　茨城いのちの電話　事務局長　多田博子様
　　後援会　長野加与様
12．点　　鐘　稲野邉会長
13．ロータリーソング斉唱（我等の生業）
　　（司会進行　阿部ＳＡＡ）

### 本日のプログラム
水戸証券㈱ 投資情報部 情報部情報課 担当課長 糸賀雅史様によります来賓卓話でございます。

### 次週のプログラム
2月19日(火)の例会は，移動例会となります。優良事業所訪問に参加される方は，15時45分に訪問先の㈱リーデン［土浦市北神立町7-13］にお集まり下さい。移動例会は，18時30分～うまい家［土浦市桜町1-6-7］です。昼の例会はございません。

### 出席状況

| 会員数 | 出席数 | 出席免除 | 出席率 | 全員出席卓 | 3名以上欠席卓 | メークアップ | 出席訂正率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名 | 名 | 名 | % | 卓 | 卓 | 名 | % |
| 93 | 76 | 8 | 82.61 | 1・2 | 8・9 | 5 | 88.04 |

## 【米山記念奨学生紹介・奨学金授与】

## 【会長挨拶】

稲野邉　　穣　会長

皆様，こんにちは。

昨日はだいぶ暖かい日でした。庭の端を見ていたら蕗の薹が顔を出しておりまして春は確実に近づいてきているとは思いますが，まだまだ寒さが続くと思いますので，お体には十分注意して頂きたいと思います。

先日，神社で袴を着まして，初めて豆撒きをして参りました。袴姿はテレビでは良く登場いたしますが，自分で身に着けたというのは初めてでしたので貴重な体験をして参りました。１月26日，節分の1週間前で，おまけに雪がチラつくような寒さでした。袴を着てちょっと浮かれた気分で行ったのですが，寒い時でも豆拾いに来てくれるお客さんが，たくさんいました。上から見ているとまるで拾ってくれるお客さんが公園の池の鯉のように見えて，随分と豪快な豆まきをしてしまい，縁起物の豆を拾いに来て下さったお客さんに不謹慎だったと申し訳なく反省しました。鬼は豆に弱いみたいですけど，私も女房に豆をまかれないように注意していきたいと思います。

さて，今月は「平和と紛争予防と紛争解決」月間です。非常に難しい月間となっておりまして，私のない頭で考えましたが，まとまらずに困ってしまい，ロータリーのホームページを開きましたら『ロータリー活動分野』というページがあります。そちらを見て頂くのが一番かと思います。詳しく説明されていますので，不謹慎な豆まきをする私の話よりはずっと分かり易いのではないかと思います。

ロータリー活動分野のページの最後まで読んでみましたが，平和と紛争予防にはとにかくお金がかかるという事がわかりました。ロータリアンは，平和と紛争予防の為に，ロータリー財団に少しでも多く寄付して下さいと言う事だと思います。また，上手いことが書いてありまして，寄付とすると寄付自体が奉仕になり，奉仕すると人・クラブ・地域・世界が活性化し，よって世界平和に繋がるとあります。皆様はどう受け取るかはわかりませんが，是非，世界平和を目指して，財団にご協力していただきたいと思います。非常に平和とか紛争予防は難しい問題だなというのが，初めてこの財団のホームページを見てわかりました。以上で2月の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

## 【委員会報告】

### 職業奉仕委員会　　今　泉　孝　之　委員長

職業奉仕委員会からのご連絡を申し上げます。

本日確認しましたところ，移動例会の優良事業所訪問のリーデンさんですが，事務局を含めて51名の参加を頂きました。

その後の『うまい家』さんの新しい店舗に60名の参加という事になりました。

報告ですが，リーデンさんの近くの駐車場を勝田さんに手配して頂き，借りる事が出来ました。それぞれが，土浦市の北神立7-13の事業所に直接，「19日15時45分集合」に変わりました。委員会メンバーがリーデンさんの前で待機しておりますので，駐車場を案内したいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

その日の夕方移動例会で，18:30から『うまい家』さんの新しい店舗，土浦の西口のソフトバンクを右に入って左に入った所の駐車場があるところでございますので，各自有料駐車場に停めて『うまい家』の方に集合が18:30となります。

私より先輩の方々には乗り合わせる形で連絡をさせて頂きますので，私より若い方は当然自分で来るという事でリーデンさんの会社に15:45集合でお願い致します。

来週もう一度個人名を申し上げますので，移動例会ですから，2/19の昼間の例会はありませんので，来週もう一度職業奉仕委員会の報告をさせて頂きます。

### 青少年奉仕委員会　　杉　田　一　男　委員長

皆さん，こんにちは。

明日2月6日に，かすみがうら市千代田講堂におきまして『青少年のための講演会』が行われます。終了後，レストラン『ボンジュール』で昼食をとって頂きたいと思いますので，参加の方は宜しくお願い致します。

### 会員増強委員会　　髙　野　竜　也　委員長

皆さん，こんにちは。

先程幹事の方より報告・お話がありました通り，新会員をご紹介致します。

鈴木恵一さん（昭和58年3月4日生），事業者名が株式会社土浦鈴木屋（職業分類：酒店小売）です。

ご意見等ございましたら1週間以内に幹事の方まで宜しくお願い致します。

## 【来賓卓話】　　茨城いのちの電話　事務局長　多　田　博　子　様

只今紹介に預かりました多田と申します。

今日はお招き頂きましてどうもありがとうございます。

私がこちらに来るのは多分2回目くらいになると思いますが，毎回色々な話しをさせて頂いて私共の活動にご理解を頂きまして，ありがとうございます。

まず私達いのちの電話は，365日24時間『眠らぬダイヤル』としてボランティアの相談員が電話相談を受けております。現在相談員の数は170名

位おりまして，多い時では200名以上おりましたが，最近相談員の数が減り，170名でやっと365日24時間の電話を受けているという状態です。

いのちの電話は，1953年にイギリスで，チャドバラーという牧師が，ロンドンタイムスに『あなたの命を絶つ前に私に電話を下さい』という広告を出したところから始まります。それから全世界に広がりまして，主なところではオーストラリアの「ライフライン」やドイツの「テレホンゼーレゾルゲ」。日本では1971年に東京で開局いたしました。現在いのちの電話ですが，茨城は1985年につくばで開局いたしました。その当時つくばは研究学園都市として生まれた頃で，研究者の自殺が絶えなかったそういう時代です。丁度つくば万博が行われた年です。そこで，茨城いのちの電話を開局致しました。

少し話が違いますけれども，茨城は日本におけるカウンセリングの発祥の地です。私も知りませんでしたが，オセロと同時にカウンセリングも茨城で生まれました。

現在大みかに茨城キリスト教大学がありますが，前身が『カウンセリング研究所』と言いまして，そちらに当時カール・ロジャーズというカウンセリングの権威がいらっしゃいました。カウンセラーが持つべき基本的な心構えが「傾向の3原則」と言いますけれど，受容・共感・自己一致それを唱えた方により，日本で初めてカウンセリングの普及を始めました。

その時に私達の初代理事長でいらっしゃいます大須賀発蔵先生もカール・ロジャーズから教授を受けたと聞いております。

現在のいのちの電話茨城は2017年度におけます相談件数は約年間2万件以上あります。男性が46.2%・女性が53.8%　現在全国にいのちの電話のセンターが52センターあるのですが，年間に受ける相談件数が約63万件あります。本当に繋がりにくい電話で本当に申し訳なく思っております。

良く聞く話ですが，自殺された筑波大の学生さんが，携帯電話で何回もいのちの電話に発信しているんですけれど，着信履歴がありませんでした。結局その方は命を絶たれ，携帯の記録だけ残っています。本当に繋がり難く，申し訳なく思っているのですが，本当に引っ切り無しに電話がかかってきます。相談員が電話を終わって受話器を置くと同時にすぐかかってくるというそういう状態なので，そこの所は，何とか改善しなければいけないと常に思っておりまして，検討していきたく思っております。

先程件数を申しましたけれども，相談者の多いのは中高年の方で40代・50代・30代という順番です。やはり若い方は今SNSやネットでやる方が簡単のように感じています。ただ，私たちは，やはり言葉で電話で話をする方が意味があるのではないかと考えております。

相談内容としましては一番多いのが，人生の相談。生きづらさ・孤独・自殺だいたいそれで34%ぐらいです。次に多いのが精神。うつ病とか統合失調症とかご病気の方ですね。そういう病気の方は，本当に同じ事を何回も聞いて貰いたい，繰り返し話したいというそれが病気の一つの症状ですので，たくさんの方がかけていらっしゃいます。だいたい30%位おります。そのほかに家族・対人関係，最近はパワハラとかDVとかそういう事が問題になっており，ご相談も多くなってきました。

それから通常365日24時間お電話を受けておりますけども，それと並行して毎月10日『自殺予防いのちの電話』というものを行っております。これは厚生労働省の自殺予防補助事業の一環として，厚生労働省から委託されて全国の52センターのいのちの電話が一斉で行います。フリーダイヤルで電話を受けますので，掛け手は無料ですね。電話代はかかりません。電話をかけて例えば茨城にかけて繋がらなければ，他県に転送される仕組みになっております。

2017年度におきまして茨城でのフリーダイヤルの受信件数は718件，内自殺傾向は174件，全体の24.2%になります。やはり相談内容は，精神疾患とか人生とか通常電話と同じような相

談内容が多いのですが，フリーダイヤルになりますと女性よりも男性からの電話が多くなります。厚生労働省の自殺予防事業はフリーダイヤルの電話を受けるだけではなくて，公開講座も行うように言われております。公開講座を行って一般の方へ自殺予防・防止のための啓発事業という事ですが，年に1回くらい入場料無料で公開講座を行っています。茨城では，昨年の12月に1回終わりました。

相談員はボライティアで，人件費はかかりませんが，運営するには資金が年間に1,700万円位必要です。それは県からの補助がだいたい年間100万程，他の所から募金等で頂き，補助金関係で年間200万位になりますが，とても1,700万円を埋める額ではなく，活動するには，皆さんから頂く後援会費とか寄付とかに頼らざるおえない状態です。その1,700万円年間の費用の約半数は研修費に使われています。相談員になるための養成講座を1年10か月受けます。そして相談員になった後も，毎月1回の研修を必要とします。相談ではなく必ず研修を受けなければいけない。両方並行して行っております。養成講座の場合は，聞くという事，自分の事を知るという事を重点的に勉強しますが，相談員になってからは，実際に電話を受けて自分の対応がどうであったか，相談内容にどう対応したらいいのか，どう理解したらいいのか，振り返りの為の研修会を行います。その部分はどうしても削れないところだと思っておりますし，他の電話相談の機関でも私共のように手厚く研修を行っているところはないと思います。

ひとつ余談になりますけれども，松崎先生という方が筑波の宇宙開発事業団がありますが，そちらの宇宙飛行士の選別する時の面接官でいらっしゃいます。その先生が，宇宙飛行士を面接する時に何を大切に思っているかと言いますと，昔はどれだけストレスに耐えられるかという所を重視して選んだそうですが，現在ではいかにそのストレスを回避する能力があるかという所に重点を置いているそうです。その話を聞きまして，ストレスの回避というのは宇宙飛行士だけではなく，私たちが普段生活するにあたってもとても大切な事で，ストレスにぶつかって貯めるだけではなくて，やはりどのように回避するかという能力は本当に大切な事だなと思って聞いておりました。

昨年度公開講座を行ったという話をしましたけれど，今年もう一回あります。今週の土曜日です。皆様にはチラシをお配りしたと思いますが，「つながりあう命」―死刑囚から学んだ生きる尊さ― という講演で，講師は田口ランディさんをお招きしてあります。この方は小説家で，インターネットなどを使って小説を書かれて，婦人公論文学賞を受賞されていていらっしゃる方ですが，色々な方と対談をされています。色々な著書がいっぱいありまして，特にその著名な方との対談などもいっぱいなさっています。この方はちょうど去年の8月にオームのたくさんの方が死刑執行されましたが，その中の一人，林やすお死刑囚と14年間交流を続けていました。その事をもとに2017年度に「逆さに吊るされた男 」という小説を書いています。今回の講演では，14年間交流を続けている中で生きると言う事はどういう事かという事をランディさんの考えの中でお話をして頂こうと思っています。入場料も無料で事前の申し込みも要りませんで，是非お時間がありましたらお出で頂きたいと思います。

今日はありがとうございました。

## 【青少年のための講演会】　2019 年 2 月 6 日　かすみがうら市 千代田講堂

［ロータリーデー］土浦南ロータリークラブ・土浦ユネスコ協会 共催

平和のとりでを築こう，青少年のための講演会

講師：在日ビルマロヒンギャ協会 難民部門部長　アウンティン 氏